

カトリック 新潟教区報

第246号 2012(平成24)年5月31日 発行

編集・発行 カトリック新潟教区広報委員会
〒951-8106 新潟市中央区東大畑通1-656
TEL 025-222-7457 FAX 025-222-7467



教区 100周年

あなた方は地の塩、世の光である

100年の歩みに感謝し
宣教する共同体をめざして

カトリック新潟教区創立百周年

教区宣教宣言作成に向けて

菊地司教は先の年頭司牧書簡で、教区百周年を迎えるにあたり秋田、山形、新発田、新潟、長岡の各地区において、これまでの歴史を振り返ると共に、それぞれの現実における「新しい宣教」の可能性を追求してほしいと呼び掛けられ、三つの教区優先課題を見直す意向を示されました。さらに今回の書簡でわたしたち一人ひとりが福音宣教師であるとの意思表示のため、教区宣教宣言の作成に取り組みと次のように呼び掛けられています。(全文掲載)

目的

教区創立百周年にあたり、新潟教区全体としての福音宣教への取り組みの姿勢を文書として明示し、同時に教区の共同体を構成する一人ひとりが、あらためて自らも福音宣教へ取り組みという意思表示を行えればと思います。また教区全体の福音宣教への意識を高めることを通じて、小教区共同体の育成に資するものとする事も目指します。

方法

一、すでにお願ひしていますが、教区の三つの優先課題の見直しを各小教区で行っていただきます。それを通じて、各小教区共同体のこれまでのあり方を振り返り、これからの新しい時代に、どのように福音宣教に取り組みことができるのかを、新たな優先課題への提言としてまとめていただきます。

二、各小教区からの提言を地区でまとめ、教区宣教司牧評議会への提案としていただきます。

三、二〇一二年七月の教区宣教司牧



「あなたたちに平安があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたたちを遣わす。」
(ヨハネ20章21節)

評議会において、各地区からの提言を受け意見交換を行い、新たな優先課題を確定すると共に、宣教宣言を作成します。

四、十月に行われる百周年記念教区大会に向け、何らかの方法で一人ひとりが宣教宣言に自らも賛同し取り組みという意思表示をしていただければと思います。

例えば、その宣教宣言などを印刷した用紙にそれぞれが署名し、また裏面には自らの取り組みの希望や決意について具体的に記し、それを教区大会中にまとめて奉獻するなど。

参考

宣教宣言は優先課題と共に記したとしてもA4一枚を超えない程度の簡潔で短いものとする必要があります。

宣教宣言には簡潔にとは言え、いくつかの要素が含まれているのが望ましいと考えられます。(たまたま検索したブルックリン教区の司牧計画事務教区の指針から)

一、まず自分たちの立場を明らかにする文章

(例えば「創立百周年を迎えるカトリック新潟教区は…」)

二、大切にしている価値観や信じていること、自分たちの存在の意味などの目的を明記する文章

(例えば「私たちはイエス・キリストの弟子として福音的価値をこの地で生きていこうと決意しています」など)

三、何をしたいのか、誰のためにするのかなど、行動を明確にする文章
(例えば「私たちは以下のことに取り組みます」など)

四、不足しているところや今後強めて行かなくてはならない点について触れる文章
(例えば「私たちは…でありたい」など)

補足
単に優先課題のふり返りといっても話し合えば進まないと思いますから、いくつかの質問事項を用意してみました。

〈教区優先事項のふり返りのために〉

一、現在の新潟教区の優先課題は次の3点です

A 世代や国籍を超えた交わりの共同体を構築する

B 教区全体の情報共有のネットワークを生み出す

C 継続した信仰養成を充実させ、成熟した信者への脱皮を図る

二、この優先課題は、それぞれの小教区で具体的に何をしなくてはならないと言っているのでしょうか。

三、この優先課題を具体化するために、これまで小教区ではどんな取り組みがありましたか。

四、この優先課題に取り組むことは、地域における福音宣教にプラスの効果がありましたか。

五、右記四に「プラスがあった」とこたえられた場合、どのような効果があつたのか具体的に教えてください。

六、右記四に「効果がなかった」とこたえられた場合、なぜプラスとならなかったのか具体的に教えてください。

七、それではそれぞれの地域における福音宣教を進めるためには、どのような取り組みが必要だと考えますか。

八、その取り組みは実際に行われていますか。いない場合は、実現できない理由はどこにありますか。

九、小教区共同体を育成することが福音宣教につながると司教はしばしば語ってききましたが、これについてどのようにお考えですか。

十、私たちは教会以外の人たちに、私たち自身の生き方をどのように示したいと思えますか。

十一、私たちの教会は、その示した姿を具体的に提示できていますか。

十二、仮にできていない場合、それを遮っている課題は何でしょうか。またそれを乗り越えるためには何をすべきでしょうか。

十三、それぞれの小教区の共同体のこれらの取り組みのために、地区や教区には何ができるとお考えですか。

十四、新潟教区に欠けているものは何だとお感じですか。人材ですか、司祭ですか、財産ですか、若者ですか。ジャンルは問いませんが欠けていると感じることを教えてください。

十五、新潟教区の持っている可能性や財産は何だと思えますか。

以上

司祭人事

() 内はこれまでの任務

第一次(四月一日付け任命)

《山形地区》

▼フランシスクス・スリワルヨ師

鶴岡教会・酒田教会主任兼任(つ

くば教会協力)

▼川俣巳三男師 鶴岡教会・酒田教

会助任兼任(友部教会担当)

《教区外へ転出》

▼ウィリアム・ドネガン師(鶴岡教

会・酒田教会主任兼任)

第二次(四月一日付任命)

《秋田地区》

▼バヴォール・フィラデルフィ師

秋田教会助任(日本語研修)

《新潟地区》

▼坂本耕太郎師 加茂教会主任(新

潟教会助任・加茂教会小教区管理

者)

《新潟地区》

▼山頭泰種師 亀田教会・白根教会

主任兼任(亀田教会主任・白根教

会小教区管理者)

▼エデルベルトウス・ナジ師 新潟

教会助任(名古屋教区より転入)

《長岡地区》

▼高橋学師 表町教会・福住教会主

任兼任(表町教会・福住教会・十

日町教会主任兼任)

▼ホセ・ルイス・グレゴリオ・ロレ

ンゾ師 表町教会・福住教会助任

兼任(表町教会・福住教会・十日

町教会助任兼任)

▼佐藤勤師 十日町教会小教区管理

者(教区本部付)

▼ブルーノ・ファブリ師 糸魚川教

会主任(糸魚川協会協力)

▼フーベルト・ネルスカンプ師 直

江津教会・高田教会主任兼任(直

江津教会主任・高田教会小教区管

理者)

《教区外への転出及び退任》

▼フェルディナール・ファミニアラ

ガオ師(表町教会・福住教会・十

日町教会助任兼任)

▼アドリアヌス・ハヨン師(秋田教

会助任)

▼オディロン金一師(土崎教会助

任)

▼マリオ・カンドウツチ師(高田教

会主任)

▼ドミニコ・ガンドルフィ師(糸魚

川教会主任)

2012年度 教区・地区行事予定(4月~)

(実施日空欄は5/1現在未定)

行	事	実施日	実施区
4月	聖香油ミサ	3日	教区
5月	佐渡キリシタン塚巡礼	12~13日	新潟地区
	愛の街頭募金	20日	新潟地区
	信徒養成講座	20日	秋田地区
6月	地区信徒大会	3日	長岡地区
7月	宣教司牧評議会	16日	教区
	教会学校錬成会	14~16日	秋田地区
	信徒養成講座		秋田地区
8月	小中学生合宿	5~7日	長岡地区
	中高生合宿		長岡地区
	サマースクール		山形地区
9月	信徒養成講座		秋田地区
10月	教区100周年 記念ミサ・祝賀会	7日	教区
	教区100周年 記念教区大会	8日	教区
	地区代表者会議	21日	長岡地区
	婦人の集い	27日	長岡地区
	地区の墓参と清掃		新潟地区
(月未定)	十字架祭		秋田地区

新潟教区

二〇一一年度 決算報告

カトリック新潟教区の会計年度は一月一日~十二月三十一日までの一年間です。二〇一一年度の決算は三月開催の司教顧問会、司祭評議会に報告し承認されましたので、例年どおり小教区と教区本部の一般会計の収支決算状況について報告いたします。

所轄である文化庁、新潟税務署にも報告を済ませました。

小教区一般会計の収支状況

經常収支は六八〇万円の赤字

総計では特別会計からの

組入れで五九〇万円の黒字

小教区の決算は、各教会から二月末の決算書を送付いただき、それを集計したものです。

二〇一一年度の教会維持費、献金、寄付金等直接信徒の皆さんから納めていただいた金額と寄付金、事業収入等を合算した經常収入額は一億六、二四〇万円、特別会計を取崩し一般会計へ組入れた額等を加えた総収入額は一億九、六二〇万円でした。前年度に比べ經常収入額は三、六九〇万円減少、総収入額は一億二、八五〇万円の減少となりました。

經常支出額は一億六、九二〇万円、建物等の取得と特別会計への振替等

を加えた総支出額は一億九、〇四〇万円でした。前年度に比べ經常支出額は三、五四〇万円の増加、総支出額では一億一、九二〇万円の減少となりました。

前年度比大口増減の要因は収入、支出とも一部の教会で聖堂・司祭館の新築・建替・改修が行われ、その寄付金と建設積立金等特別会計からの組入額が大きく変わっているためです。

また、二〇一一年度新庄教会で震災時地盤が崩落したため補強工事が行われましたが、この工事費としてカトリック中央協議会から八〇〇万円の援助をいただいております。

収入から支出を差引いた収支額は、經常収支額では六八〇万円の赤字、総額ベースの収支額は五九〇万円の黒字となりました。經常収支の赤字分は特別会計を取崩して充当しており、特別会計の繰越残高が前年比七四〇万円減少しています。

特記事項

・教会維持費、ミサ献金等の献金収入が前年度比二〇〇万円増加しています。厳しい財務状況が続いておりますが、皆様のご協力で五年ぶりに献金収入が増加いたしました。

・教会建物の老朽化等で補修・補強を要する話が寄せられておりま

す。厳しい財政状況の中での早めの維持管理の手当てと資金手当てが課題です。特に小人数の教会は深刻です。

参考資料
・資料1「教区財政資金収支の流れ」
・資料2「小教区一般会計収支計算書」

教区本部一般会計の収支状況

実質九〇万円の赤字

前年度と前々年度の実質収支額は五〇万円の赤字でしたが、二〇一一年度は九〇万円の赤字になりました。

二〇一一年度の収入総額は、各小教区から送金された教区維持費、司祭活動費、一粒会費等の負担金収入と司祭寄付金、一般寄付金等を加えた収入合計額は五、八六〇万円でした。前年度に比べ一九〇万円増加しました。

支出総額は五、二八〇万円、前年度比七〇万円の増加となりました。

前年度比大口増減内容を項目別で見ると収入では司祭寄付金二九〇万円増、一般寄付金等四七〇万円増(中央協議会から新庄教会へ震災援助金八〇〇万円)、その他収入六九〇万円減(前年度新潟市道路拡張整備計画による土地売却八九〇万円)となっております。

支出では祭儀費等一、〇二〇万円増(中央協議会から新庄教会への震災援助金八〇〇万円本部経由で送金)、その他支出一、〇八〇万円減

(前年度新潟市道路拡張整備計画による土地売却八九〇万円特別会計へ振替)が主な内容です。

収入総額から支出総額の差引は五八〇万円の赤字となりましたが、「司祭寄付金等と司祭人件費」と「一粒会負担金と神学生養成費」を一般会計で処理しておりますので、この収支残高を差引くと実質一般会計の収支額は九〇万円の赤字となりました。

参考資料

・資料3「教区本部一般会計収支計算書」

【特別会計の収支状況】

特別会計として処理している「一粒会会計」、「建設・共済基金会計」の決算状況と指定献金の本部送金額は次のようになっています。

一粒会会計

二〇〇六年度から司祭召命と司祭育成のための収支を別会計で処理しております。当年度の収入額は五四〇万円、支出額は一六〇万円、収支残高は三八〇万円となりました。

二〇一一年度末の一粒会の基金残高は二、九〇〇万円となっております。

参考資料

・資料4「一粒会会計収支状況」

建設・共済基金会計

共済基金は一九七一年に各小教区から基金を出し合いプールし、その資金を教会施設の建設資金等として融資し合うという目的で設立されたものです。

二〇一一年度末の基金は次のよう

なっています。

- ・基金総額 一億七、〇〇〇万円
- ・融資産残高 一億六〇万円
- ・預貯金等残高 六、九四〇万円

指定献金

各小教区から送金いただいた金額は総額で一、〇七〇万円です。うち一〇〇周年の特別献金は五四〇万円で、前年度分を合算しますと六一〇万円となりました。

参考資料

・資料5「指定献金・特別献金受入一覧」

決算総括

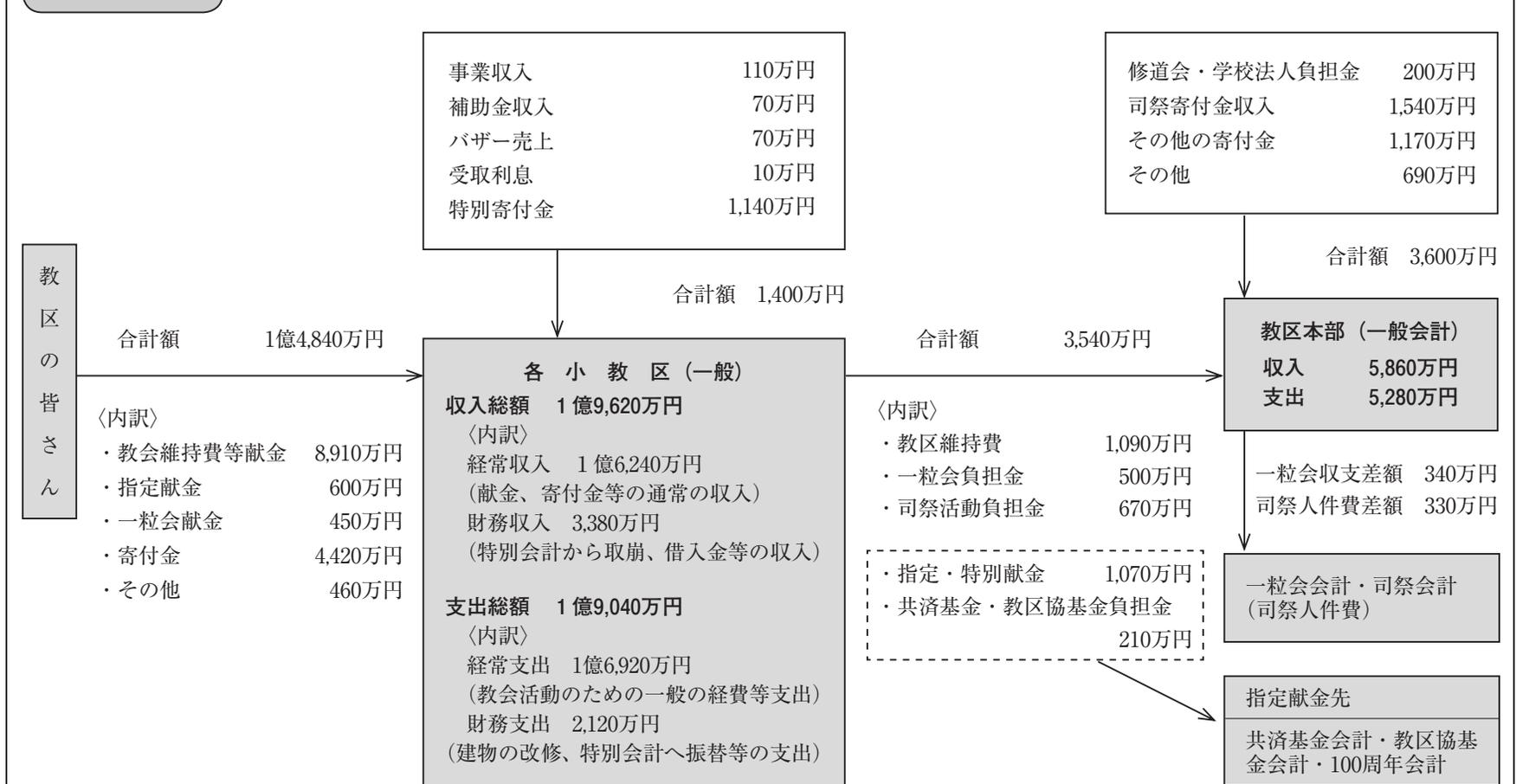
決算数字の上から明らかのように、教区全体は信徒の献金によって成り立っています。このことを銘記し財政運営に当たらなければならぬことは明らかです。しかし信徒、司祭の高齢化や昨今の経済情勢から厳しい財政状況が続くことが予想され、今後は慢性的な赤字財政予算を組まざるを得ない状況になると思われます。

今年度は一〇〇周年記念行事を計画しております。また司教館、教区本部事務所の建設計画が間もなく具体化され、建設資金の協力をお願いしなければなりません。

財政基盤の確立に向けた対応について引続き検討していかなければなりません。各小教区の主任司祭を始め信徒の皆様の教区財政に対するご理解とご協力をお願いいたします。

(教区事務局長 大瀧浩二)

資料1 2011年度 教区財政資金収支の流れ (金額は10万円単位の概数)



資料 3

2011年度 教区本部一般会計収支計算書

(単位：千円)

項 目	2011年度	2010年度	増減額
負担金収入	24,627	23,457	1,170
教区負担金(教区維持費)	10,959	11,068	-109
司祭活動負担金	6,708	5,720	988
一粒会負担金	4,975	4,684	291
学校法人・修道会負担金	1,985	1,985	0
寄付金収入	27,032	19,426	7,606
司祭寄付金	15,370	12,490	2,880
一般寄付金等	11,662	6,936	4,726
献金収入	2,902	2,905	-3
その他の収入	4,010	10,879	-6,869
収入合計	58,571	56,667	1,904
宗教活動費	19,026	9,012	10,014
神学生養成費	1,452	1,611	-159
祭儀費等	17,574	7,401	10,173
事務運営費	6,201	6,437	-236
人件費	26,774	25,064	1,710
司祭人件費(含法定福利費)	18,766	17,511	1,255
職員人件費	8,008	7,553	455
その他の支出	761	11,511	-10,750
支出合計	52,762	52,024	738
①収支差額	5,809	4,643	1,166

〈司祭寄付金等と司祭人件費〉

司祭寄付金・司祭活動負担金	22,078	18,210	3,868
司祭人件費(含法定福利費)	18,766	17,511	1,255
②司祭人件費等収支額	3,312	699	2,613

〈一粒会負担金と神学生養成費〉

一粒会負担金等	4,975	5,284	-309
神学生養成費	1,452	1,611	-159
地区練成会等補助	105	189	-84
③一粒会収支額	3,418	3,484	-66

実質収支額(①-②-③)	-921	460	-1,381
---------------------	-------------	------------	---------------

資料 5

2011年度 指定献金・特別献金受入一覧

〈本部受入分〉

(単位：千円)

項 目	2011年度	2010年度	増減額
カトリック児童福祉の日献金	991	1,247	-256
教区青少年の日献金	354	360	-6
四旬節愛の献金	1,486	1,464	22
聖地のための献金	249	260	-11
世界広報の日献金	368	362	6
聖ペトロ使徒座への献金	496	428	68
世界難民移住移動者の日献金	378	440	-62
世界宣教の日献金	404	360	44
宣教地司祭育成の日献金	496	570	-74
教区100周年特別献金	5,432	650	4,782
合計額	10,654	6,141	4,513

資料 2

2011年度 小教区一般会計収支計算書

(単位：千円)

項 目	2011年度	2010年度	増減額
献金収入	89,078	87,055	2,023
教会維持費収入	48,777	48,578	199
ミサ献金収入	24,032	22,590	1,442
一般・臨時献金収入	5,144	5,748	-604
祭儀献金収入	4,586	4,278	308
司祭活動献金収入	6,539	5,861	678
指定献金収入	6,036	6,041	-5
一粒会献金収入	4,543	4,772	-229
寄付金収入	55,597	76,452	-20,855
事業収入	1,143	1,085	58
その他の経常収入	6,038	23,946	-17,908
経常収入計	162,435	199,351	-36,916
財務収入	33,798	125,384	-91,586
収入合計	196,233	324,735	-128,502
宗教活動費	59,974	55,679	4,295
指定献金支出	7,107	6,319	788
一粒会献金支出	4,609	4,781	-172
事務運営費	35,295	39,408	-4,113
人件費	7,753	7,836	-83
維持管理費	53,743	19,205	34,538
事業支出	277	228	49
その他の経常支出	442	381	61
経常支出計	169,200	133,837	35,363
財務支出	21,166	175,699	-154,533
支出合計	190,366	309,536	-119,170
全体収支差額	5,867	15,199	-9,332
経常収支差額	-6,765	65,514	-72,279
次年度繰越金	105,243	99,376	5,867

資料 4

2011年度 一粒会会計収支状況

〈本部受入分〉

(単位：千円)

前年度資金残高	25,281	21,328	3,953
---------	--------	--------	-------

〈2011年度の収支額〉

一粒会費収入額	4,975	4,684	291
神学生のための特別献金	0	600	-600
司祭育成の日献金教区組入額	396	470	-74
収入額計	5,371	5,754	-383
神学生養成費	1,452	1,611	-159
練成会等補助	105	190	-85
支出額計	1,557	1,801	-244
2011年度収支額	3,814	3,953	-139
2011年度末資金残高	29,095	25,281	3,814

地区便り

秋田地区

東日本大震災から一年

犠牲者追悼と
復興祈願ミサ

昨年発生した大震災からちょうど一年目の三月十一日(日)、土崎教会と合同の追悼ミサが、菊地司教様をお迎えして秋田教会聖堂で捧げられました。

朝から降り始めた雪にもかかわらず、大勢の信徒が詰めかけ、心をひとつにして祈りました。

カリタスジャパン責任司教として、世界各地の救援事業に携わりながら感じていることとして、被害を受けた現場では時間が経つとともに多くの人々の興味が薄れてしまうことを経験してきていること、人間という存在がいかに移り気なのかを戒めながら思いを新たにしていきたい、ということや、私たちがこの一年の経験を



通じて、根底にあるべき心の価値観と人間の命の絆とを結び合わせていくことが大切であり、信仰の言葉、行いを通じて、私たちひとりひとりがしっかりと証ししてほしいこと等を、ミサの中のお説教で私達にお話し下さいました。

ようこそ、
パウロ神父様!

どうぞよろしくお願いいたします。

はじめまして、フィラデルフィ・パウロ神父と申します。これから秋田教会で助任司祭の一人として働かせてください。みなさんよろしくお祈りします。私の出身はヨーロッパのスロバキアにあるポワズスカーピステリツァという名前の町です。二十二歳で神言会に入ったばかりのころには、アフリカ、ロシア、南アメリカなどの国へ宣教師として行かせてくれればよいと思っていて、自分の心を準備しました。しかし、神様の計画で日本でした。また神学生の時、日本について本を読んだり、音楽を聴いたり始めたたら、日本のことがすべて好きになりま

した。昔から大ぜいの外国から来た司祭たちが勤める秋田教会は、せっかく習った日本語の多様性を初め、様々な国によつて特徴的な習慣などを経験したことであるに違いありません。これに対して、スロバキアの出身でスロバキア語の発音で話す日本語は皆さんが聞きになる始めての経験ではないかと思えます。何よりも、心のひろさは何でも越えることができるかと思えます。叙階されたのは初めて、今からです。この新しい時に向かつて、神様に感謝しながらはじめたいと思います。どうぞ、よろしくお祈りします。



山形地区

春を連れてきた十字架リレー

四月一日(枝の主日)に、新潟教区百周年の事前記念事業である「十字架リレー」の十字架とリレーノートが長井教会の二人の信徒によつて山形教会に届けられた。ちょうど聖週間が始まるタイミングで引き継がれる恵みをいただいた。十字架が聖堂の祭壇に掲げられ、山形に留まる二週間の間、多くの信徒が思い思いの祈りを捧げた。

四月八日(復活の主日)、フィリピンから来られた神父と神学生、そして前日の復活徹夜祭で洗礼の恵みを受け、新たな信仰共同体となった二人を迎え、主の復活を祝うミサが捧げられた。今年は何年にもない豪雪に見舞われ、大変な冬だったので、なおさら春の訪れを告げる「復活祭」の喜びは大きかった。

四月十五日(神のいつくしみの主日)、十字架と約三十人の信徒を乗せたバスは新庄へ。途中から辺りの景色は白い世界へと変わり、教会周辺も二メートル近い雪がまだ残っていた。教会へ続く坂道を、十字架を先頭に進むと、聖歌で迎える新庄教会の信徒の姿が見えてきた。その歌声は「十字架リレー」とともにやってきた遅い春を喜ぶかのように。



写真左上/4月1日(枝の主日)に長井教会から山形教会に十字架リレーの「十字架」が届けられる。

写真左下/4月15日(神のいつくしみの主日)に新庄教会へ十字架が引き継がれる。

写真右/4月8日(復活の主日)十字架リレーの「十字架」とともにミサ後に記念撮影。

新潟田地区・新潟地区

二〇一二年 新潟地区信徒大会開催

テーマ「新潟教区創立百年と今後の百年」

二〇一二年三月二十四日(土) 亀田教会を会場として、主司式及び基調講演に菊地司教様をお招きし、開催し

模索していると述べられた。そして現在、各小教区に見直しのための話し合いをしてほしいとお願いしているので、多くの人から多くの意見を出してほしいと締めくくられた。講話後の質疑応答では、教区内のコミュニケーションと情報の共有をさらに進める必要性が指摘されるなど、色々な意見が出された。最後に新潟地区信徒使徒職協議会総会をもって閉会した。



昼食をはさみ、十三時から聖堂を会場として行われた基調講演で、菊地司教は数年前から活動の目標としている教区の三つの優先課題について実例をあげながら振り返られた後、この教区百周年を契機に新たな優先課題の作成を

長岡地区

ニュース・ショート！・ショート！

☆第七回信徒養成講座開催

二月十二日(日) 高田教会を会場にして開催した。講師にフェルディ神父様(フライピン共同指導司祭)をお迎えし「外国人から観た日本の教会」をテーマにしてご講演をいただいた。

参加者七十四名であった。

☆糸魚川教会に来られて十九年間私たちを指導してくださったドミニコ神父様がイタリアに一時期帰国をされました。お別れ会をしました。

☆高田教会のマリオ神父様も異動となり、五月

五日「神父様を囲んでご指導いただく会」をしました。長年にわたりありがとうございました。



Table with columns for church names,信徒数, 洗礼, 堅信, 結婚, 求道者. Includes sub-totals for 新潟地区, 新発田地区, 長岡地区, and 新潟県合計.

新潟司教区統計 (2011年12月31日現在). Includes sections for 概況, 人員構成, 事業, and 移動.

注1. 結婚：信者同士、信者と他キリ、信者・非キリのみ
注2. 秋田教会には、聖体奉仕会シスターの人数(29人)が加算されております。